

議員全員協議会会議録	
1 開会日	令和 2年 2月26日 午後 6時05分 開会 午後 6時46分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	高橋英俊 鈴木京子 石川則男 竹内恵美子 清田文雄 吉川 諭 鈴木たまよ 奥津勝子 二宮加寿子 渡辺順子 吉川重雄 飯田修司 玉虫志保実
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 野島教育長 和田政策総務部長 仲手川教育部長 佐野町民福祉部長 小林福祉課長 仲手川障がい福祉係長 齋藤総務課長
5 職務のため出席した職員	局 長 大槻直行 書 記 熊澤 晃
6 協議等の事項	(1) 大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター建物明渡しに係る訴訟について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町報告事項

- ①大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター建物明渡しに係る訴訟について  
令和2年2月25日に大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター建物明渡しに係る訴訟の和解成立について、口頭報告を受けた。  
そのことから、福祉文教常任委員会委員長と協議し、議会として和解内容等を把握するため、確認を行った。

◎主な質疑

問：東京高等裁判所の「権利の濫用にあたらぬ」という見解は。

答：和解に向けた話し合いの中で、「権利の濫用」について確認したところ、裁判官から法律家が見れば、その部分は権利の濫用にあたらぬという話をいただいた。

問：見解について、裁判官に聞けるのか。

答：一審の判決結果をどのように解釈したら良いのか、気に掛けていたので聞いた。

和解に向けた話し合いの中では、一審の判決結果を東京高裁としては、そのまま受け止めていない。受け止めていないから、和解を強く求めているという話をいただいた。

町としては、違法な形での使用を認めたことを自ら反省するとともに、建物がおおいそ福祉会の所有物であるという主張をいただいていたので、占有することに権原が無いということを主張し、東京高裁の和解案に文言を入れていただくという形になった。

問：一審の判決は事実として残るのか。

答：結果としては残るが、裁判の最終的な結論は、和解となる。

※議会として、「和解調書」を資料要求した。

②その他

町から、令和2年2月5日に発生した逗子市の斜面崩落事故を受けて実施されたパトロールに伴い、県道610号（大磯停車場線）で対応する緊急対応工事、安全対策工事及び町道大磯48号線で対応する安全対策工事等について報告を受けた。

◎主な質疑

問：県道に隣接するがけ地のどの部分の石が落ちてきたのか。

答：県道の駅から国道へ下る側のがけ地部分の一部窪みがあり、その部分の表面にある小石等が風雨により剥がれ落ちてきた。万が一のことを考え、早急に歩道を通行止めとした。

問：町道48号線の石積み斜面の上部は、定期的に手入れをしているのか。

答：石積みは道路用地、上部の所に土地開発公社の土地が残っている。

公社用地は町と貸借契約を結んでいるが、樹木の管理は契約の中には入っていない。倒木は至急撤去し状況を見た中で、抜本的な対策が必要ならば、早急に次の手立てを考えていく。

問：県道の木下邸側の歩道は大丈夫か。

答：木下邸は、壁面等の工事中だが、通行上は問題ない。

問：県道に警備員を3名配置しているとのことだが、配置する時間は。

答：基本的には始発から終電までと考えている。車や人の動く状況を見ていきたい。

問：県道と町道の対応する費用は町の負担か。

答：町の費用で対応する。

問：昨日の一般質問で町道48号線に係る質問をしたが、答弁が無かった。事前に話が来ていたのではないか。

答：町道に関しては、関係機関との協議等について、今日、報告があった。